

令和2年度移住・定住・交流推進支援事業
(申請書より)

◎一般事業

No.	都道府県名	市(区)町村名	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要
1	北海道	栗山町	「新規就農・田舎暮らし」体験PR大作戦	一般財団法人栗山町農業振興公社	都市部の学生を受け入れ、農業体験等を通じ、関係人口の増加を促進するとともに、学生たちと連携した栗山町の魅力発信を強化し、新規就農・移住定住の促進を目的とする。	○都市部の大学へのガイダンスの実施 ○農業体験プログラムの実施 ○学生と地元農業者や子供との交流 ○学生による農村・農業課題・魅力調査の調査・検討 ○新規就農希望者・移住希望者向けのセミナー開催 ○首都圏での地元農産物等の販売・PR等の実施
2	北海道	倶知安町	ワーケーションニセコ事業実証事業	一般社団法人倶知安観光協会	従来のアクティブシニア層の受入事業を継続しつつ、リゾート内に働く環境を整え、ファミリー層の夏季長期滞在の誘客、地域内事業者と首都圏で働く方の交流を促進し、関係人口・交流人口の増加とワーケーション先進地を目指す。	・テレワーク環境の提供 期間:2020年7～8月の平日(9:00～17:00) 場所:ニセコグラン・ヒラフ「タンタ・アン」 ・ワーケーションPR テレワーク関連イベント参加、ワーケーションを推奨する企業へのPR、PR動画等制作 ・実証事業結果の分析・検証 ・冬季ワーケーションニーズ調査(2021年1月)
3	岩手県	陸前高田市	中長期の移住を促進するための学校づくり事業	特定非営利活動法人SET	今後の人口減少社会でのまちづくりに必要な人材の流入、育成を目的とし、日本で唯一の持続可能な価値観や考え方を学べる(人間成長)私営学校「Change Makers' College(以下CMC)」を運営し、地域留学という形で中長期滞在する若者の移住促進や交流人口の拡大に寄与する。	平成29年より4ヶ月の移住留学プログラムCMCを開始し、卒業生20名のうち10名が卒業後から現在も本市に居住し、4名が卒業後半年～1年以上滞在しているという成果が生まれている。定住をしていない卒業生についても、年に1度は本市に訪問し、地元の方々と関係性は継続している。 また、デンマークの学校(フォルケホイスコーレ)とも連携し運営を進めており、今後は毎年30人が継続的に移住留学する規模へ成長させ、SDGs17の目標にも掲げる「11 住み続けられるまちづくり」と「17 パートナリシップで目標を達成する。」を体現できる地域を目指しており、その上で人材の獲得と育成をはじめとした基盤強化を行うことが必要である。 ア コーディネーター(教員)人材の獲得と育成 イ プログラムの周知・参加への導線を強化 ウ 学校環境の整備 日本で唯一の学習環境づくりを進め、学び舎の価値を高め、学びに来ることを目的とした新たな移住促進の形を創るだけでなく、CMCの受講生との交流を通じ、地域住民の学びの拠点として機能させていきます。
4	岩手県	紫波町	若手人材発掘育成事業	紫波町	特に首都圏など県外の大学をターゲットに学生を町に呼び込み、関係人口の拡大を図りつつ地域の将来を担う人材へと育成を図る。また、その活動拠点として地元商店街の空き店舗を活用することにより、遊休不動産の活用と若者による商店街活性化にも同時にアプローチしていく。	①実践型インターンシップ事業 ②ツーリズム移住体験事業 ③活動拠点整備事業
5	秋田県	湯沢市	ゆざわりビングラポアカデミー事業	ゆざわりビングラポサポートオフィス	地域づくり団体「ゆざわりビングラポサポートオフィス」が主体となり、都市住民との交流により、関係人口を構築しながら、地域住民に対する地域課題解決のノウハウを学び、実践する場を提供する。	○地域課題解決に向けたノウハウの蓄積を目的とした連続講座の開催 ○先進事例を学ぶフィールドワークの開催 ○地域課題解決プロジェクトへの落とし込みを行うセミナーの開催
6	山形県	鶴岡市	あつみ温泉集客イベント実施事業「あつみ温泉御湯興(おゆこし)祭り(仮称)」	あつみ温泉魅力づくり推進委員会	令和3年度に開湯1200年を迎える本市「あつみ温泉」にて、プレイベントとして「あつみ温泉御湯興祭り」を実施し、地域や観光関係団体であつみ温泉を盛り上げていく。「あつみ温泉」の新しい文化となる本イベントを次年度以降も継承し、あつみ温泉の知名度アップ、交流人口や関係人口の創出、地域経済の活性化を図る。また、地域の連帯感も醸成する。	○イベント内容や交流人口増加のための方策を練るワークショップの開催 ○新たな温泉文化のシンボルとなる「御湯興」の制作 ○開催告知及び御湯興の担ぎ手の募集 ○御湯興祭りの実施 ○旅館と連携した宿泊プランの企画
7	山形県	置賜広域行政事務組合	関係人口創出事業	置賜広域行政事務組合	置賜地域と首都圏の住民の交流を進める「関係人口創出交流事業」を実施し、置賜地域に多様に関わり、新たな価値を創発する担い手づくり拡大につなげる。また、首都圏大学のゼミの学生が置賜地域を訪れ、様々な活動を行う「関係人口裾野拡大交流事業」を実施し、置賜地域に関心を持ち、これからの関係人口として地域に関わってくれる関係づくりを進める。	○本組合が取り組む「人と地域をつなぐ事業」の受講者と港区芝地区総合支所が取り組む「ご近所イノベーター養成講座」の受講者同士がさらなる交流を進める「関係人口創出交流事業」の実施 ○東京都市大学坂倉ゼミの学生が置賜地域を訪れ、公開講座、ワークショップ及びイベントを実施し、地域住民と交流を進める「関係人口裾野拡大交流事業」の実施
8	福島県	磐梯町	磐梯町渋谷拠点「交流・関係人口」創出・拡充プロジェクト	磐梯町	1. 「交流・関係人口」の創出・拡充 2. リモートワーク・複業の推進 3. 課題解決・価値共創	国家戦略特区を用いてつくられた産学官連携共創スペース「渋谷QWS」において、磐梯町渋谷拠点(仮称)を設け、下記の事業を実施する。 <事業内容> 1. 「交流・関係人口」創出事業 ①プレスリリース・デジタルマーケティング ②視察受け入れ ③「交流・関係人口」創出・拡充イベント 2. リモートワーク・複業推進事業 ①「(仮称)共創的官民連携複業人材審議会」 ②リモートワークの実施と複業人材確保 3. 課題解決・価値共創事業 ①ピッチイベント・ワークショップ ②課題解決・価値共創支援
9	栃木県	鹿沼市	仕事×鹿沼暮らし体験ツアー～地方なのにそこそこ魅力的な仕事があるんだが。～	鹿沼市雇用・移住・定住促進協議会	移住に興味がある東京圏在住の若年者を対象に「仕事特化型移住体験ツアー」を実施することにより、移住や関係人口へつなげることを目的とする。また、本事業を通して、参加者に継続が危ぶまれる伝統的木工産業等について体験してもらうことにより後継者の確保や地域の担い手の発掘につなげる。	○仕事体験受入可能な地元事業者を10か所程度確保し、地方暮らしに興味のある若年層を中心に移住体験ツアーを開催 ○体験期間中に、参加者には事業者や地元住民との交流の場を持ってもらい、継続的なつながりづくりの場を提供 ○参加者が体験したレポートを自身のSNSツールを活用し、発信のすることによる情報拡散

令和2年度移住・定住・交流推進支援事業
(申請書より)

No.	都道府県名	市(区)町村名	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要
10	埼玉県	川越市	留学生等の交流促進及び観光人材育成事業	川越市	<p>【趣旨】 留学生の活用及び交流を促進し、インバウンド事業への反映や地域経済の活性化を図る。</p> <p>【目的】 留学生等を観光人材として育成すること。インバウンド観光客の満足度と受入体制の向上。外国人観光客数の増加。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○大学と連携し、留学生の紹介など事業への協力を依頼する。 ○留学生等に以下の取組を通じて観光人材として成長してもらう。 <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成研修の受講 ・川越まつり等のイベントに参加し、観光事業を体験 ・海外商談会・旅行博に同行し、案内通訳兼現地旅行代理店への営業を経験 ・記事レポートを作成し、webやSNSで発信
11	埼玉県	加須市	「かぞグルメ」から始めるまち・ひと・グルメ協働への挑戦!	加須市	<p>【趣旨】 「食(グルメ)」に対する市民、事業者、行政の意識の醸成を図り、本市が有する「食資源」を観光に限らず、地域の課題解決にも活かす。</p> <p>【目的】 「食(グルメ)」を通じた取組を展開することで、地域住民同士の交流を一層推進すること。定住人口や交流人口の増加と地域の活性化につなげること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○(仮称)「かぞグルメ宣言」 ○商工会主催イベント「かぞまちばる」とのコラボレーション ○魅力的なフードイベントの開催 ○1dayショップの開催 ○道の駅における地域の物産品の周年販売 ○BBQを通じた地産地消の促進 ○新たなグルメ開発 ○加須産農産物をより手軽に、より多くの方が味わえる機会の提供 ○「食」を通じた姉妹都市との交流 ○市の代表グルメ「うどん」を活用した知名度の向上とまちおこし ○「食」による外国人との文化交流
12	神奈川県	逗子市	逗子まるごとアクティビティプロジェクト	一般社団法人 Regional Sports	<p>逗子市の地形、資源を体感してもらうため、逗子市全域を使用するイベントを開催し、現在情報発信できていないアクティビティマップのウェブサイト構築することにより、高齢化率の高い逗子市へ若者世代の移住・定住者を増やしていくことを最大の目的とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民、既移住者、移住検討者の3者のコミュニケーション向上が期待できるオリジナルイベント「Regional Running」を逗子で初開催 ○アクティビティマップのウェブサイト構築 ○イベント時に移住相談ブースを設け、逗子市と連携して移住者の相談を受け付ける
13	新潟県	小千谷市	小千谷縮製作体験講座実施事業	小千谷縮技術保存会	<p>国指定文化財、ユネスコ無形文化遺産に認定されている「小千谷縮」の後継者育成と、小千谷縮布の普及啓発を図ることで新たな人材を発掘し、就業・定住を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○小千谷縮製作の技術習得には5年以上かけた養成期間が必要である。その養成講座として「100日講習」を小千谷縮技術保存会が実施している。 ○「100日講習」参加へのきっかけづくりとして、製作体験講座を実施する。「100日講習」同様に、小千谷縮の技術保存に努めている小千谷縮技術保存会が事業を実施することで「100日講習」への参加促進、就業先の紹介により、定住促進を図る。
14	新潟県	上越市	里山の技術・文化・景観を未来に伝える「中ノ俣・暮らし創造事業」	特定非営利活動法人 かみえちご山里ファン倶楽部	<p>上越市中ノ俣集落においてワラ細工等の技術の習得者を育て次世代に伝承するとともに、文化や景観等の地域の魅力を広く発信しながら、地域内の仕事の創出などの移住者の受け入れ態勢を整えることで、地域の交流人口、ひいては地域への移住者を増加させることを目的として実施するものである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○携帯電話やスマートフォンを使った撮影・編集技術をプロの写真家から学び地域の魅力ある景観や暮らしの風景を撮影する「里山写真講座」を実施。 ○戦国時代から地域に残る古道の整備を行い、自然景観や史跡等を鑑賞しながら地域を巡る「古道体験ツアー」を実施。 ○棚田における稲作に必要なすべての技術を学ぶ「棚田学校」やわらを活用するワラ細工をワラの調達から学ぶ「ワラ細工講座」を実施。
15	富山県	高岡市	たかおかUJターン定住支援事業企画案	たかおか企業人材確保推進協議会	<p>「たかおか企業人材確保推進協議会」(高岡商工会議所、ハローワーク、高岡市)では、大都市圏からの人材を地方に呼び込み、確保するための取り組みを行っている。</p> <p>既存のHP等でのPR事業、高校生向けのキャリアサポート事業、地元学生を対象とした企業見学バスツアーの開催等に併せて本事業を実施し、首都圏を中心とする大学生等の若者や子育て世代や中途(転職)採用者等の社会人に対して、きめ細やかなUJターン施策を展開することで、将来的な人口の維持、子育て世帯の定住に伴う子どもの増加、子どもを産む年代の若者の増加に伴う出生数の増加を目指す。</p>	<p>首都圏の大学等と連携を行い、本市への就職支援を行うステークホルダー(首都圏の大学、企業等)を獲得し、協働で人材還流に取り組み関係人口を創出するとともに、首都圏の学生に対して就職斡旋等を行う仕組みをつくり、社会増、ひいては将来的な子ども増加を目指す。</p> <p>●実施事業 ①首都圏大学生を対象とした就職支援事業 ②インターンシップ受入体制強化事業 ③首都圏での就職フェアへの参加 ④魅力発信映像制作</p>
16	福井県	若狭町	WAKASAではじまる。騎街道マルシェで徴住・交流推進事業	WAKASAチャレンジ協議会	<p>進出している都市住民を通じ地域に関わりをもつ都市住民をさらに拡大するとともに、都市住民が短期間定住する「徴住」を推進する中で、地域住民との交流機会を創出し、地域住民との協働による都市目線、若者目線からの新たな地域活性化の展開を図る。</p> <p>また、宿場町で開催するマルシェ等を通じて、起業希望者等のトライアルなど、若者の起業を支援し、宿場町「熊川宿」の往時の賑わいを再現するとともに、若者の新しい取組への「チャレンジ」を促すことにより、町全体に若者が活躍できる機運を醸成し、定住人口および関係人口の増加、更には町の活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○チームビルディング 都市住民と地域住民で事業の実施チームを組成。都市住民は徴住し事業を実施。 ○マルシェ開催 宿場町の賑わい創出、起業支援(トライアル) ○交流マッチングイベント 都市住民と地域住民の交流、ビジネスマッチング ○都市部出店・交流 関係人口の拡大、販路開拓、若狭町PR ○徴住・ビジネス相談 徴住推進、若者の起業支援
17	山梨県	甲府市	リニアサミットinこうふ	甲府市	<p>2027年のリニア開業にあたり、中間駅設置5自治体によるまちづくりに関するパネルディスカッションや基調講演、PRブース設置等のサミットを行い、リニア開業効果や各自治体の特色を発信し、移住・定住の促進を図るものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○リニア駅設置自治体の5市長による「リニア時代を見据えたまちづくり」をテーマとしたパネルディスカッション ○有識者による基調講演 ○リニア中央新幹線の紹介ブース設置 ○リニア中間駅設置自治体のPR・特産物販売ブースの設置 ○リニアをいかしたまちづくりに係るアンケート調査

令和2年度移住・定住・交流推進支援事業
(申請書より)

No.	都道府県名	市(区)町村名	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要
18	山梨県	早川町	森の探検隊キャンプ事業	特定非営利活動法人日本上流文化圏研究所	豊かな自然を生かしたキャンプイベントを実施し、町内資源を活かした体験プログラムの作成・実施に力を入れ、参加者、保護者、ボランティア、地域住民との交流を図り、関係人口の拡大を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア研修キャンプ ○森の探検隊サマーキャンプ ○週末キャンプ ○ボランティア研修キャンプ ○スプリングキャンプ
19	長野県	富士見町	学生による地域のよろず継承事業	富士見町	都市住民等の本町への移住・定住促進を目的に「学生の就職移住」に焦点を当てた施策として、学生が町民の大小様々な地域課題「地域の困りごと」を担うことで地域の魅力を理解し、地域の魅力を新たな学生に語り、新たな学生の交流人口・関係人口を獲得することを目的とする	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による富士見町のよろず継承拠点の構築 ・町民による富士見町の働き方の魅力発掘会議の開催 ・富士見町アクティビティ×働き方ツアーの開催 ・富士見町の困りごと解決ハッカソンイベントの開催 ・富士見町の楽しい働き方(就職移住)動画の制作 ・学生ネットワークによる動画配信
20	静岡県	下田市	令和2年度下田市移住・定住・交流促進プロジェクト	NPO法人伊豆in寛茂6(イヌイモモックス)	移住・交流希望者等と住民との交流イベントを定期的に開催することで、地域内外の交流を活性化させ、同時に地域の魅力向上を図る。また、空き家活用個別相談会を実施し、空き家の有効活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家活用個別相談会実施(3回) ○異文化体験事業の実施(下田インド化計画) ○観光温泉講座実施(伊豆下田・蓮台寺温泉物語) ○移住者交流会の実施
21	愛知県	大山市	持続可能な地域へ！みんなでやる・考える魅力発信事業	ミラマチ栗栖	平成9年の閉鎖から有効に活用されていなかった野猿公苑跡地を、大山市栗栖地区の街づくりや活性化の拠点とするため、令和元年11月23日から野「縁」公苑としてオープンさせた。地区への将来的な移住定住に繋げることを目的に、野縁公苑で特産品の販売やワークショップを開催を通じ、栗栖の魅力を知らせてもらえるようなイベントを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ○野縁公苑を活用した、栗栖の魅力を発信するイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・栗栖でとれたキノコや枝豆、落花生等の野菜の即売会 ・栗栖に自生する竹を使用したワークショップ 等 ○栗栖地区活性化プランの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化、交流人口の増加のために何が必要か、地元住民を中心としたワークショップを行う。
22	愛知県	高浜市	鬼師と多文化コラボレーションによる定住・交流人口増進事業	高浜市	高浜市は、昭和45年12月1日に誕生し、2020年に市制施行50周年を迎える。高浜市がこれまでの歴史の中で培ってきた強みを活かし、定住人口・交流人口を増進することで、高浜市に暮らす方の自分のまちに対する愛着・誇り(シビックプライド)を高め、地域全体の活性化を目指すことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ○高浜市の伝統的な地場産業である「三州鬼瓦工芸品」を作る「鬼師」と、アニメ・マンガや地元プロバスケットボールチーム「シーホース三河」のコラボレーション
23	三重県	津市	映画「浅田家！」とタイアップした移住・定住・交流促進事業～スクリーンの向こう側、津市へ～	津市	映画公開とタイアップしたPRイベントの実施により、都市住民の来訪機会を増やし地域住民との交流の場を設け、交流・関係人口の増加および移住・定住の促進を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ○市民や映画ファンを招待したトークイベント付き試写会の実施 ○津市PR動画の作成 ○市内ロケ地マップの作成 ○タイアップポスター・ステッカーの作成
24	滋賀県	長浜市	“森のほとりて職人の技を学ぶ”体験型交流事業	田根地区・地域づくり協議会	職人の技術を学ぶ「実習体験」やチップボイラーを介した「環境学習」などを通じて、都市住民と地域住民との交流を図り、交流人口・関係人口の増加による移住や定住を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家を拠点とした居住体験 ○来訪者と地域住民・既移住者等との交流会や、地域内見学の実施 ○職人による家具製作・空き家改修等の実習体験 ○森林を活用した循環型社会をテーマにした講演会の開催
25	京都府	綾部市	「田楽学校」開催および「里山塾(仮称)」事業	田楽研究所	綾部への移住を希望する人と綾部の接点を作る。本事業を契機として移住希望者が綾部市に通う機会を継続的に創出し、まず「交流人口」を増やすことを目指す。並行して、交流人口の中から定住へと発展していく人を増やすための方策の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○田楽学校 <ul style="list-style-type: none"> 市内の小学校等を貸切り、各教室において授業形式で1～4時間目の授業を実施。会場では同時にマルシェを開催し、移住希望者や市民等、多くの人が楽しめる交流イベントを目指す。 ○里山塾(仮称) <ul style="list-style-type: none"> 市内の宿泊施設や農地を利用し、里山暮らしに役立つ知識や技術を学ぶ塾を定期的に開催。入塾者は里山暮らしに関心の高い都市部の住民。受講は有料のチケット制。
26	兵庫県	たつの市	定住自立圏スポーツフェア	播州ストリートダンス協会	東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機に、スポーツへの関心・興味、競技人口の増加を図り、スポーツを通じた交流人口の増加を目的として実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ○東京オリンピックの新種目競技であるスポーツボルダリングやスケートボードリズムブレイキンなどの体験会やトッププレーヤーによるデモンストレーション ○生涯スポーツや健康増進の観点からノルディックウォークなどのニュースポーツ体験コーナーを設置
27	奈良県	奈良市	「奈良活」推進事業	奈良市	奈良に関心を持つ方々同士で交流の機会を設けることにより、参加者が奈良を深く知り、またその魅力を新たに発見することで、「奈良ファン」やその友人に多様な形で奈良市への関わりを深めてもらうことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ○「奈良ファンミーティングin東京」の開催(7月頃) ○「奈良ファンミーティングin奈良」の開催(10月頃) ○移住検討者への支援

令和2年度移住・定住・交流推進支援事業
(申請書より)

No.	都道府県名	市(区)町村名	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要
28	和歌山県	湯浅町	湯浅に移住～YUASA NEED YOU～	湯浅町	就農体験の提供や空き家バンク制度を活用することにより地域を知ってもらい、移住、交流の推進を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ○移住・交流情報の発信、研修等への参加 ○就農体験による担い手不足解消 ○移住推進空き家活用事業の実施
29	鳥取県	八頭町	SATOGAERIプロジェクト	一般社団法人SENRO	八頭若桜谷を中心とした体験型ツーリズムやワーキングホリデーなどをブラッシュアップするとともに、拠点施設の整備を行い、交流人口及び関係人口の増加を図り、持続可能な地域再生を実現することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしのツーリズム企画創出による交流人口増加促進施策 ○里帰りプログラムの企画創出による関係人口増加促進施策 ○動画、SNS、HPなどによる情報発信 ○交流拠点の整備
30	島根県	江津市	首都圏のビジネスマンと地域住民との関係交流促進事業	一般社団法人イワミンチカラ	<ul style="list-style-type: none"> ○首都圏で活躍するビジネスマンと江津市およびその周辺地域の住民・学生との関係交流の促進を目的とする。 ○交流の手法として、地域活性化に向けたアイデアソンを実施する。アイデアソンでは、当該地域を地元目線ではなく、首都圏で生活する人がどこに魅力を感じるかという目線で発見・発信するために、首都圏ビジネスマンのアイデアによる地域活性化案の具現化に取り組むこととする。 ○首都圏でのワークショップイベントにだけでなく、現地での地域住民や学生を交えた活性化案のブラッシュアップを行うことにより、移住定住交流促進を図るだけでなく、本事業の参加者が今後も当該地域とかかわり続ける動機付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○首都圏のビジネスマンを集めた説明会を行い、事業の概要および江津市および周辺地域の基礎情報を共有する ○複数グループに分かれたアイデアソンの実施 ○アイデアソンを基に、ワークショップにて企画のブラッシュアップを行う ○現地視察・ワークショップを行うことで、地元住民および学生との交流を図る。 ○グループごとに企画内容を発表する (例：江津市および周辺地域の特性を生かしたツアーの造成、観光地の交流拠点の整備など)
31	島根県	川本町	「関係人口の持続的な活動」実践モデル事業～関係人口×地域人材×地域資源による商品開発～	川本町	近年、地方で重要な役割を担いつつある関係人口とされる人材のノウハウや経験、ネットワークと地域おこし協力隊等の地域人材が協働し、本町の玄関口である、道の駅で特産品「エゴマ」を活用した名物商品の開発販売を行い、道の駅の賑わいと経済効果を創出することで、今後モデルとなる「関係人口の持続的な活動」を実践することを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源「エゴマ」を活用した、道の駅の名物商品の開発販売 <ul style="list-style-type: none"> ・東京で活躍中の町出身パティシエによる名物商品の開発 ・道の駅と地域おこし協力隊による名物商品の生産販売 ○地域の人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・町内菓子製造者の研修 ・道の駅スタッフの研修 ・地域おこし協力隊の活動支援 ○名物商品と町の効果的なプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、SNS等によるPR ・関係人口のネットワークを活用したイベント等によるPR
32	広島県	福山市	福山地方へ若者の就職を促進するための交流事業	福山地方雇用対策協議会(福山市・府中市市内の事業所374社、福山市、府中市、福山公共職業安定所、福山商工会議所)	人口減少への危機意識が高まる中、高校生を対象とした職業体験を実施し、地元企業を知ること、就職後のミスマッチによる離職防止と職業観や勤労観を醸成する。これにより、若年者の市外流出を防ぎ、将来の福山地方への就職につなげる。また、大学・短大・専修学校及び高校の就職担当者や協議会の会員企業の採用担当者が、学生の職業観や企業の求める人材などについて自由に意見交換と交流を深めることにより、これからの就職・採用活動のあり方を探り、福山地方への就職を促し、移住・定住を図る	<p>(1)事業内容</p> <p>①高校生の「職場体験学習」 実際に働くことで、仕事に対する責任や社会人としてのマナーを身につけ、ものづくり企業で働くことへの興味と関心を高める。</p> <p>②高校生による「事業所見学」 ものづくり企業の魅力を知り、認知度を高め、将来の福山地方への就職につなげる。</p> <p>③企業と学校の交流会 《講演会》「最近の雇用失業情勢等について」 講師：福山公共職業安定所 《意見交換会》学校ブース形式での意見交換会(学校が着席したところへ企業が訪問して、1対1で意見交換する。の後に、企業ブース形式での意見交換会(企業が着席したところへ学校が訪問して、1対1で意見交換する。)を実施する。) 《名刺交換会》軽食をとりながら人脈構築のための名刺交換会を行う。</p> <p>(2)事業後の展望 高校生の「職場体験学習」や「事業所見学」は、ものづくり企業を知るとともに、働くことの大切さや厳しさを学び、社会や職業に対する認識を深めることで、早期離職の防止につながる。 また、春に一括採用していた就活ルールが廃止され、通年採用へと移行する動きの中で、学校の就職担当者と企業の採用担当者が、これからの就職・採用活動のあり方を探る「企業と学校の交流会」は、企業の採用活動と学生の就職活動をスムーズにするために重要な事業である。 これらの事業により、若者の福山地方への就職を促し、移住・定住へつなげる。</p>
33	山口県	下関市	グローバル人材を活用した下関市の地域創生事業	グローバル人材活用型下関地域創生推進協議会	帰国を検討している在外邦人に対して、帰国定住先としての下関市の魅力をPRし、地域課題解決の担い手として活躍してもらうことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ○帰国定住先としての下関市の魅力を発信し、下関市に興味・関心のある人たちと情報交換できる仕組みを整備 ○下関市での疑似生活を体験してもらうモニターツアーを企画・募集
34	徳島県	那賀町	令和2年度那賀町交流人口増加事業	那賀町	若者・親子世代をターゲットに、移住する上で重要となる「町を知る」「町の人を知る」「町を体験する」ことのできるイベントを実施することで、交流人口の増加や将来的な移住へとつなげることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ○町にゆかりのある歌手によるLIVEと著名人によるトークショーの実施 ○那賀町木頭杉を使用した「箸づくりワークショップ」の開催 ○「移住」を身近に感じてもらうための「那賀町なんでもブース」を設置 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家紹介、農産物紹介、地域おこし協力隊を紹介するブースを設置 ・ボランティアの募集や、イベント・ツアーのPRを行うことで、交流人口の創出を図る

令和2年度移住・定住・交流推進支援事業
(申請書より)

No.	都道府県名	市(区)町村名	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要
35	長崎県	東彼杵町	インバウンド観光客向けティーツーリズムによる交流促進事業	東彼杵町ふるさと交流センター	東彼杵町の茶を英語で紹介・体験できるティーツーリズムを事業化することにより、海外からの交流を促進し、それを宣伝塔に国内の交流促進につなげるのが狙いである。また、事業化により雇用創出、地域の活性化を図る。	1～10名程度の外国人観光客を対象としたティーツアーで、東彼杵町の茶畑・茶工場を英語で案内するものである。地元食材を使ったランチを提供し、築150年の古民家でその茶をテイスティング等を行う、見るだけでの観光では得られなかった知識、経験が得られるツアーの実施。
36	熊本県	上天草市	人と地球に優しい地域づくり推進事業	GREEN HEART	人情が厚く自然豊かな天草を拠点に「人」、「自然」、「食」、「生命」について興味関心のある方と繋がり「人と地球に優しい生活」について学び、実践することで参加者相互の親睦を深め交流人口の拡大に繋げることを目的とする。	○環境保全や安全な食生活・農業などについての講演会開催 ○フェアトレード・人権擁護・自然環境などについての映画上映会開催 ○自然農法体験やワークショップ、ゴミ拾いなどの体験型ワークショップの開催 ○継続的推進の仕組みづくりとして、プロモーションや定例会議の開催、賛同者の募集などを実施
37	大分県	豊後高田市	ぶんごたかたし無料宅地マイホームの夢を全力応援中！事業	豊後高田市	先進的な取組である「無料宅地」を中心に住みたいまち・住みやすいまちとしての豊後高田市を全国にPR・情報発信し、子育て世帯を呼び込み、豊後高田市に住んでもらうことで地域活性化や経済的活力につなげ、定住人口増を図る	○情報発信・PR活動 ・雑誌広告掲載 ・PR動画の作成 ・はがきでのお知らせ ○イベントの開催 ・新築物件見学プログラム ・DIY・ガーデニングなどの講習会
38	鹿児島県	喜界町	「サンゴ礁×サイエンス×島留学」推進プロジェクト	特定非営利活動法人喜界島サンゴ礁科学研究所	喜界島は世界有数の隆起サンゴ礁地形で構成され、多くの国際的な研究の舞台となってきた。実施主体は平成27年に喜界島サンゴ礁科学研究所を設立し、サンゴ礁研究の拠点として国内外の大学・研究機関の研究者の来島者数の増加に寄与している。その一方で、喜界町の総人口は減少の一途をたどっている状態である。実施主体は、5年間にわたり全国の小中高生を対象に喜界島の自然資源を活かした科学教育プログラムである「サンゴ塾」や「サンゴ礁サイエンスキャンプ」を実施してきた。喜界島でのサンゴの研究をさらに進めたいなどの島外在住者の希望の声もあるが、地域行政や教育機関との連携不足や生活環境の未整備など、すぐに受け入れられる体制が整っていないことが障壁となっている。これらの課題を克服することで、研究や調査を目的とした受講希望者の定期的な来島や移住の実現に結びつける。さらに、この事業を継続して行うことで、中学生・高校生やその保護者など若年層の定期的な島への来島と移住のきっかけとなるだけでなく、島在住者の自然環境や文化資源の再認識・地域学習の機会の増加・学術的観光の発展などの波及効果が見込まれる。	○喜界町内での連携組織の確立 ○教育プログラムの構築と実施 ○生活環境の整備（寮の設置）

◎人生100年時代のスポーツによるいきいき健康づくり支援事業

1	山梨県	北杜市	北杜で健康になるスポーツ推進プロジェクト	北杜市	市内の豊富な人材や文化などの“お宝”を生かし、市民、家庭、企業、地域、行政が一体となり、一生涯健康で幸せに暮らせる“ふるさと北杜”を目指して、スポーツ振興とともに、市民の健康づくりを目的とする。	○「ビーチバレーボール大会」開催事業 ○ナイトウォーキング事業 ○いいことチャレンジ健康ほくと事業 ○ウォーキングマップ作成事業 ○健康北杜ランニング教室開催事業 ○ウォーキング・ランニング用マーク整備事業 ○スポーツのための健康づくり講座開催事業 ○第1ゲートを通してみよう！GB普及開催事業
---	-----	-----	----------------------	-----	---	--